

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	中学校修繕事業			
予算科目	10 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課: 学校教育課		電話番号(内線): 733	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 皆川 竜男	
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	市内4中学校			
根拠法令等				
事業の目的	生徒が、安全で、安心に過ごせる学校施設の維持管理を図る。			
事業の内容	中学校施設及び設備の修繕・改修			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	6,024	9,250	1,603	8,756
	人件費	1,193	804	402	804
	合計	0	10,054	2,005	9,560
人件費 内訳	人工数	0.15	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,193	804	402	804
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,217	10,054	2,005	9,560

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
整備状況	%	80	90	20	95

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000

成果指標				
成果指標	支出額÷予算額			
指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が難しいため、予算額(学校の要望)に対する執行率を指標とし整備状況とする。なお、施工時にコストの縮減等適正な執行に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標26年度
目 標	100	90	90	0
実 績	80	95	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	学校施設の維持管理は、子ども達の安全を守るためにも必要不可欠なものである。今年度計画していた修繕箇所については、各学校と施工時期を調整しながら実施することができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本年度、計画していた修繕は学校等との調整をしながら適切に実施できた。学校施設の維持管理は、安全確保の観点から、優先順位をつけながら継続的に取り組む必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 (行政評価委員会)	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	